

サークル協  
ソフトボール大会

# 千葉転支部、初優勝かざる！



82・5・13

No. 1042

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五一六(会館)品五三〇七

★準優勝＝津田沼、3位＝銚子・幕張支部  
★最優秀選手賞は白井選手(千葉転)へ！

\*\*\*\*\*  
好天にめぐまれた五月十一日、勤労千葉サークル協主催の第七回ソフトボール大会が、千葉市営こてはし球場で開催され、熱戦のすえ、千葉転支部チームが初優勝をかざった。

大会はまず開会式が大岩スポ連会長の司会で九時すぎから開かれた。  
優勝杯返還が前回優勝チームの成田支部より行なわれ、つづいて関川委員長のあいさつ、木更津支部外山選手の選手宣誓、審判長あいさつが林サークル協事務局長から行なわれた。

ただちに、委員長の始球式のち、二つのグラウンドにわかれて、熱戦(迷プレー・珍プレーも含めた)の火ぶたが切っておとされた。  
△一回戦▽  
新小岩 0040000  
幕張 0013000  
(ジャンケンの結果5対3で幕張の勝)

△決勝戦▽  
千葉転 0005011  
津田沼 0000200  
2 7

本 部	0 0 0 0 0 3 2
千 葉 転	1 0 3 2 0 0 X
成 田	0 0 5 0 0 0 4
蘇 我	0 3 0 0 1 0 2
佐 倉	2 0 3 1 0 1 2
館 山	4 5 2 0 0 1 X
△二回戦▽	
木更津	0 1 0 1 1 0 0
幕 張	5 0 0 0 2 1 X
千 葉 転	6 1 0 0 2 1 0
勝 浦	1 0 0 0 0 0 1
津 田 沼	3 0 5 0 0 0 9
成 田	0 0 0 0 1 1
△六回時間切れコールドゲーム	
銚 子	2 7 2 2 0 0
館 山	0 3 0 1 0 0
(六回時間切れコールドゲーム)	
13	4

本 部	0 0 0 0 0 3 2
千 葉 転	1 0 3 2 0 0 X
成 田	0 0 5 0 0 0 4
蘇 我	0 3 0 0 1 0 2
佐 倉	2 0 3 1 0 1 2
館 山	4 5 2 0 0 1 X
△二回戦▽	
木更津	0 1 0 1 1 0 0
幕 張	5 0 0 0 2 1 X
千 葉 転	6 1 0 0 2 1 0
勝 浦	1 0 0 0 0 0 1
津 田 沼	3 0 5 0 0 0 9
成 田	0 0 0 0 1 1
△六回時間切れコールドゲーム	
銚 子	2 7 2 2 0 0
館 山	0 3 0 1 0 0
(六回時間切れコールドゲーム)	
13	4

今大会に向けて練習を積み重ねチームワークも抜群の千葉転支部と若さを力とし、波に乗ると猛打が爆発する津田沼支部との決勝戦は、見応えのある好ゲームが期待された。  
一回の表、千葉転支部は三者凡退。その裏、津田沼支部は、一番三上が中前安打を放つも後続なくチェンジ。その後、三回まで両チーム共、好投、好守備により得点できなかった。  
四回、千葉転支部は、一死、四番の平川が、レフトオーバーのホームランで先取点をあげ、打線に火がついた。五番の白井が四球、六番の畑木が内野ゴロ、ホースアウトをねらったが、悪送球となり一挙にホームイン。つきが回った千葉転支部。続いて七番植草がレフトへ二塁打し、八番の田中も左中間を破る二塁打を放ち、九番長谷川のピッチャイでゲッツーをねらったが、悪投となり、この回、大量五点をあげた。  
津田沼支部も、五回に反撃に出る。七番の平野が二塁強襲の安打。九番が四球で出塁後、一番の三上



が痛烈な内野安打で満塁となりチャンス到来。二番の川崎がセンター前へタイムリーで二者生還し、試合はおもしろくなった。三番の藤代がレフトフライ、タッチアップしたが、フライが浅すぎ、好返球でタッチアウト。  
千葉転支部は、六回に、畑木の左前安打。田中が右前へはじき一点を加え、七回にもダメ押し的一点を加え、大きく水をあげた。  
津田沼支部もよく健闘したが及ばず、千葉転支部の初優勝が決定した。  
決勝戦終了後、閉会式にうつり、成績発表・表彰式が行なわれ、水野副委員長から閉会のことばがのべられ、熱戦と迷プレー・珍プレーおりませでのソフトボール大会が終了した。

- |        |           |
|--------|-----------|
| 優 勝    | 千葉転支部     |
| 準優勝    | 津田沼支部     |
| 三 位    | 銚 子支部     |
| 幕 張    | 幕 張支部     |
| 最優秀選手賞 | 白井敏行(千葉転) |
| 敢闘賞    | 藤代秀樹(津田沼) |
| 打撃賞    | 梅沢利男(千葉転) |
| "      | 渡辺敏博(津田沼) |
| "      | 平川長二(千葉転) |